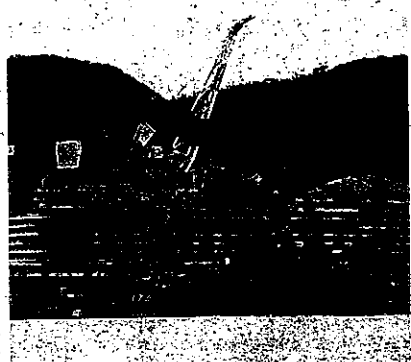


造船、I・O・Tで革新

三菱重工と長崎大学、久保工業(長崎市)など重工の協力会社群は、インターネットで様々な機器をつなぐI・O・T(インターネット・オブ・シングス)技術を使い造船業の革新に乗り出す。機器に取り付けた各種センサーでデータを収集。受注から設計、調達、製造、納入、物流、ユーザーの運用状況までビッグデータを分析し、生産性向上につなげる。

三菱重工、長崎大などと協力



三菱重工長崎造船所本工場(長崎市)では護衛艦を中心に建造する見込み

艦艇の管製造で着手

納期・生産コスト3割減

は三菱重工の祖業で、長崎造船所の構内外で多数の協力会社が製造を分担している。今回は協力会社も交えて生産を効率化する。まず防衛省向けの艦艇生産で納期や製造コストの3割減を目標にも

のつくりを革新する。重工は昨秋、商船事業を分社するなど造船事業を立て直しに乗り出した。現在、防衛省向けの護衛艦と大型客船は重工本体、ガス運搬船は三菱重工船舶海洋など分社した新会社に分かれている

が、造船I・O・Tの成果は長崎地区全体で共有する。第1弾として船の様々な部分で使う管の製造を対象にする。工程は切断やフランジ(継ぎ手)の

持ち株会社名「西日本FG」 広域象徴、合流後押し

銀討 日本シテイ 西 日本シテイ 西 日本シテイ

ネット技術で企業間連携を密に、速くして「長崎版インスタストーリー4.0」の実現を狙う。造船

西日本シテイ銀行が設立する持ち株会社の名前が「シテイ」の文字が

西日本シテイ銀の持ち

取り付け、特殊な曲げ加工や酸による洗浄、メッキ、塗装、水圧試験、組み立てなどに分かれ、現在はそれぞれの担当企業に重工が作業指示や発注をしている。

これをネットを使い製造や物流を一元管理する。既に機器のセンサーで生産状況の管理を始めた。管製造に関わる複数の協力会社が参加、重工グループのMHI情報システムズ(東京・港)などがシステム構築を支援する。久保工業は長崎造船所の協力会社の集まりである三菱長崎協力会社の理事長会社で、プロシエクト・マネジャーとなる。

南日本銀行、高知銀行など3つの地方銀行と東山口信用金庫(山口県防府市)など2つの信金が地域活性化に関する包括連携協定を3月3日に結ぶ。各金融機関の営業区

護衛艦は長崎市中心部の本工場で生産しており、構内の管製造工場が老朽化している。防衛省からの受注も民間同様、原価低減による競争力向上が求められる。

長崎大の山本郁夫教授が様々なビッグデータを抽出・収集・分析し、シ

能し、管生産全体を管理できる協力会社が現れば、構内工場をその会社に任せたり、外部に移転したりすることも検討する。長崎大の山本郁夫教授に展開し「長崎版インスタストーリー4.0」を早期に広めたい」としている。

薩長土肥で連携 5金融機関協定

来月3日

薩長土肥に本店所在地のある金融機関が組む。協定には佐賀共栄銀行(佐賀市)と幡多信用金庫(高知県四万十市)も参加。締結式は福岡市内で実施する。各営業区域の地方創生総合戦略の支援などに関する情報交換などにも取り組む。

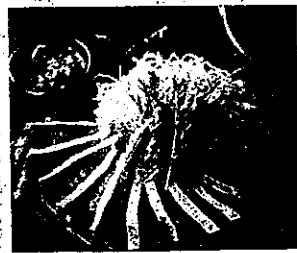
東九州道開通の記念定期

大分、宮崎の両県と北九州市の8つの信用金庫

は、4月に東九州自動車道により北九州から宮崎まで結ばれるのを記念して

定期預金の取り扱いは始めた。預け入れると金利を上乗せするほか、抽選で大分・宮崎の産直グルメ(5千円相当)が50人に、特産品詰め合わせセット(3千円相当)が150人に当たる。

金利0.1%を上乗せ



「産直グルメ」の抽選も

「東九州自動車道開通記念定期預金」を取り扱うのは大分信金と太分み

ら信金、宮崎信金、都城信金、延岡信金、高鍋信金、南郷信金、福岡ひびき信金。定期預金の対象は個人客や個人事業主で、預入期間は1年。店頭表示金利に年0.1%を上乗せする。3月末まで取り扱えるが、募集総額が20億円に達した時点で打ち切る。預入金額10万円につき1本の抽選権が付与される。抽選は1月を予定している。

県一しかり車両の置産が遅れ(法道知事)など、早期開負